

TRANSMISSION RATE CONTROL METHOD

Patent number: JP2002290974
Publication date: 2002-10-04
Inventor: ITO TOMOYOSHI; NOTOYA YOJI; ARAKAWA
HIROSHI; SATO JUNICHI; YAMAGUCHI TAKAO
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Classification:
- international: H04N7/24; G11B20/10; H04L1/00; H04L29/08;
H04N5/76
- european:
Application number: JP20010368185 20011203
Priority number(s): JP20010368185 20011203; JP20000372629 20001207;
JP20010012779 20010122

Abstract not available for JP2002290974

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

1-1/1 Next page From 1 - 1 Count

Display format ----- Select the type of output. -----


Display checked documents

Check All

Uncheck All

** Result [P] ** Format (P807) 2004.11.16 1/ 1

C P

Application no/date: 2001-368185[2001/12/ 3]
 Date of request for examination: [2001/12/ 3]
 Accelerated examination ()
 Public disclosure no/date: 2002-290974  Translate [2002/10/ 4]
 Examined publication no/date (old law): []
 Registration no/date: []
 Examined publication date (present law): []
 PCT application no:
 PCT publication no/date: []
 Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
 Inventor: ITO TOMOYOSHI,YAMAGUCHI TAKAO,SATO JUNICHI,ARAKAWA HIROSHI,NOTOYA YO
 JI
 IPC: H04N 7/24 G11B 20/10 G11B 20/10
 G11B 20/10 ,311 H04L 1/00 H04L 29/08
 H04N 5/76
 FI: H04N 5/76 Z H04N 7/13 Z G11B 20/10 D
 G11B 20/10 F G11B 20/10 ,311 H04L 1/00 E H04L 13/00 ,307C
 F-Term: 5C052AA01,CC11,CC12,DD04,EE10,5C059KK34,PP04,RB02,RF04,SS08,TA17,TC21,
 TC45,TD13,UA02,5D044AB07,CC04,DE11,DE17,DE49,GK07,HL06,HL11,5K014FA12,HA05,5
 K034AA05,CC02,DD02,MM08,MM21
 Expanded classification: 446,425,443
 Fixed keyword: R011,R102,R335
 Citation: [19,2004. 8.13,] (,WO,A ,000014953)
 [19,2004. 8.13,] (,US,A ,006014694)
 Title of invention: TRANSMISSION RATE CONTROL METHOD
 Viability information of application: (under examination)
 Priority country/date/number: (.) [] ()
 Domestic priority: [2000/12/ 7] (H12-372629
 2001/ 1/22] (H13-012779)
 Original application number: ()
 Original registration number: ()
 Retroactive date:[]
 No. of claims (7)
 Classification of examiners decision/date: () []
 Final examinational transaction/date: () []
 Examination intermediate record:
 (A63 2001/12/ 3,PATENT APPLICATIONUTILITY MODEL REGISTRATION APPLICATION, 2
 1000:) (A621 2001/12/ 3,WRITTEN REQUEST FOR EXAMINATION, 98300:)
 (A131 2004/ 8/17,WRITTEN NOTICE OF REASON FOR REJECTION, :)
 *** Trial no/date [] Kind of trial []
 [] ***
 Demandant: -
 Defendant: -
 Opponent: -
 Classification of trial decision of opposition/date: () []
 Final disposition of trial or appeal/date: () []
 []
 Trial and opposition intermediate record:

Registration intermediate record:

BEST AVAILABLE COPY

Amount of annuity payment:

Extinction of right/Lapse date of right: () []

Proprietor: -

Status of register: ()

☐ Check All

☐ Uncheck All

☐ Display checked documents

Display format

1-1/1

From - Count



拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 1 - 3 6 8 1 8 5
起案日	平成 1 6 年 8 月 1 3 日
特許庁審査官	川崎 優 8 9 4 4 5 P 0 0
特許出願人代理人	前田 弘 (外 7 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項、第 3 6 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 3 6 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

記

明細書の特許請求の範囲の請求項 2 には、

「(同一のコンテンツをもとにして事前に作成しておいた前記 2 つ以上の映像データを含んだ映像ファイルを) 準備する」ステップという記載がある。

ところが、「準備する」という記載はコンピュータ上で実現される「時系列的につながった一連の処理または操作」ということも、システムを管理運営する者が「人間の精神的活動に基づき行われる処理」ということもでき、発明特定事項としては不明りょうである。

(なお、もしも後者である場合、「ソフトウェアとハードウェア資源が協働することにより構築された情報処理システムの動作方法」ということは言えないので注意のこと)

請求項 2 を引用する請求項 3, 4 も同様の不備がある。

2. この出願の請求項 1 - 7 に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記

引用例 1. 伊藤ほか、ユーザカスタマイズが可能なレート制御方式、情報処理学

会第59回(平成11年後期)全国大会講演論文集, 1999年 9月28日,
P.3-539~540

2. Naghshineh, M. et al, End-to-End QoS Provisioning in Multimedia Wireless/Mobile Networks Using an Adaptive Framework, IEEE Communication Magazine, 米国, 1997年11月, Vol.35, No.11, P.72-81 (特にP.74左段-P.76左段のMultimedia Stream Adaptation)

3. 石橋ほか, スケーラブル映像配信システムのためのビットストリーム変換に関する検討, 情報処理学会研究報告, 1998年 9月 4日, 第98巻、第77号, P.13-18 (特にP.14右段~P.15左段の「スケーラブル映像配信のための符号化方式」の記載)

4. 増田ほか, 選択的マルチメディア通信方式SMAPネットワークサービスの実装, 情報処理学会研究報告, 1998年 5月29日, 第98巻、第53号, P.55-62(特にP.56左段の2.1 誤り制御の記載) 5. 国際公開第00/14953号パンフレット

6. 米国特許第6014694号明細書

引用例1には本願の前提となる符号化レートのバリエーションなどに基づき符号化された複数の映像データを伝送帯域の状態もしくは利用者の指示に応じて動的に切り替えることが記載されている(引用例2-6も同様)。(請求項1, 5-7)

ここで、引用例2のMultimedia Stream Adaptionの記載や、引用例3の伝送路のレート変動への対応を目的としたマルチレート符号化方式やスケーラブル符号化方式において複数の映像データを一元的に管理しておくことからみて、本願請求項2、3の「同一のコンテンツを元にして事前に作成した2つ以上のファイルを含んだ映像ファイルを準備しておくこと」「同一時刻にいずれかが送信されるべき2つ以上のファイルを1つのアクセス単位として映像ファイルの中に記録すること」という事項には特許性を認めることはできない。

また、請求項4の「互いに異なる誤り耐性強度を有する複数の映像データ」に関して、引用例4に「適応的(Adaptive)にcheckbitを増やして誤り耐性を強化する」という技術思想自体が開示されている以上、請求項4の上記構成をとることは当業者にとって格別の困難性を要するものではない。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 H04N7/24-68、H04N7/173、H04L1/00、H04L12/56、G06F13/00

DB名

・ 先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。